対象：中学生の保護者

こんな時、子どもに何と言う？

子どもが何か頼みごとをしてきた時､｢それはだめ!｣と返していることはありませんか。
いつも否定の返事しか返ってこないと、そこから親子げんかになったり､｢どうせ言ってもだめだから…｣としだいに相談をしなくなったりするかもしれません。
こちらがちょっと言い方を換えるだけで、子どもが「うん、わかった」と納得できる魔法の言葉かけを考えてみましょう。

１．次のような時、あなたは子どもに「いいよ」と言うと思うものには〇、「だめよ」と言うと思うものには×、どちらか迷うものには△をつけましょう。

①　（　　）　「今度のテストで成績が上がったら、スマホ買ってくれる？」

②　（　　）　「明日の帰りに、友達とカラオケへ行ってもいい？」

③　（　　）　食事の時「すぐ返さないと仲間外れにされるから、スマホ見てもいい?」

④　（　　）　「今度の土曜日、友達の家に泊まりに行ってもいい?」

⑤　（　　）　「これからは自分で掃除するから、もう部屋に入らないで。」

２．子どもが納得するような肯定的な言葉かけ「～ならいいよ」や、提案する「～はどう？」の言葉かけを考えてみましょう。

①　食事前に、「お菓子を食べてもいい？」
⇒　例）「一つだけならいいよ。」、「ご飯を食べた後に、まだ食べられそうなら食べる？」

②　「〇〇さんはお小遣いを 5000 円もらっているから、私も 5000 円にしてくれる?」
⇒　「　　」

③　「これからは自分で掃除するから、もう部屋には入らないで。」
⇒　「　　」

☆ こんな時、みんなはなんて言うか聞いてみよう!　(返事に困る子どもからの頼みごと)
子ども「　　」
⇒　親「　　」